

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 17 日作成)

小委員会名	集落居住小委員会	主 査 名：山崎義人 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：岡田知子
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2018 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>これまでの小委員会活動のテーマである「むらを住み継ぐカタチ」を引き続き検討し同主題の書籍を刊行することを目標とする。</p> <p>初年度：大会研究懇談会を開催し、これまでの成果を振り返りつつ議論を展開する。</p> <p>2 年度：年 2 回の公開研究会を開催する。九州および東北北海道を予定している。</p> <p>3 年度：年 2 回の公開研究会を開催する。関西圏で 2 箇所を予定している。</p> <p>4 年度：それまでの研究成果を取りまとめて編集し、公刊する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査：山崎義人 (兵庫県立大学大学院)</p> <p>幹事：佐久間康富 (大阪市立大学大学院)</p> <p>委員：内平隆之 (兵庫県立大学) 大沼正寛 (東北工業大学) 岡田知子 (西日本工業大学)</p> <p style="padding-left: 20px;">嵩和雄 (ふるさと回帰支援センター) 柴田祐 (熊本県立大学)</p> <p style="padding-left: 20px;">清野隆 (江戸川大学) 田口太郎 (徳島大学) 野村理恵 (北海道大学)</p> <p style="padding-left: 20px;">姫野由香 (大分大学) 平田隆行 (和歌山大学) 藤原ひとみ (佛教大学)</p> <p style="padding-left: 20px;">八木健太郎 (広島大学) 遊佐敏彦 (奈良県立医科大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2015 年度予算	115,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	<p>1. 2015年度農村計画委員会春季学術研究会「“奇跡の集落”が生まれる背景とインターンシップの取組み」(7/11、農村計画委員会主催) 参加者数 30名</p> <p>2. 研究会「むらを住み継ぐカタチ#06：石巻旧十五浜 一被災集落の流動的居住とその行方」(10/31) 参加者数 28名</p>
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 概ね達成している。
委員会活動の問題点・課題	1. 予算が利用しにくい。地域科学である農村計画においては、小委員会を公開研究会と同時に進めるように、制度を見直すべき。